

一般質問通告書 6月議会

令和4年6月14日

番号	件名	氏名
1	イノシシ対策について	山戸孝
2	行政主体のタウンミーティングの必要性について	清水康博
3	人材育成について	秋山鈴明

3件 3人

定例会一般質問通告書

令和4年第2回上関町議会定例会（6月）

◆質問者1 山戸 孝	
質問事項	質問要旨
イノシシ対策について	<p>町のイノシシ対策は、猟友会への箱罠の貸し出しと、狩猟免許の取得や更新に助成金を支給で一定の成果が出ているが、捕獲数に個人差や地域差がある。</p> <p>そのため、若い世代の免許所有者と、現在1人5台までとなっている箱罠の貸し出し数を捕獲実績や管理に問題が無い場合は現状より増やしても良いのではないか。</p>
◆質問者2 清水 康博	
質問事項	質問要旨
行政主体のタウンミーティングの必要性について	<p>当町では人口減少、各産業の担い手不足が深刻化している。また、各地域が抱える問題も多種多様である。</p> <p>そこで行政と町民、町民と町民との距離を縮め、『第5次上関町総合計画』等の将来の町のビジョンを実現するためのタウンミーティングを行ってはいかがか。</p> <p>また、上関町出身者や上関町に興味がある方を対象にオンラインミーティングを開き、町外からの視点で意見を聞く機会をつくることで、交流・関係人口の拡大が期待できると考えるが意見を伺いたい。</p>
◆質問者3 秋山鈴明	
質問事項	質問要旨
人材育成について	<p>①近年、若い職員の離職、休職が多い印象を受けるが、執行部としてはどのような評価をしているのか。</p> <p>②職員の職務意識向上の取り組み例として他自治体では「職員提案制度」があるが、執行部の考えは。</p> <p>③若い世代による政策提言プロジェクトの実現に向けて必要なことはなにか。</p>

	④内閣府地方創生推進室による地方創生人材支援制度などで、外部人材を積極的に活用していくことは検討できないか。
--	--